

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 徳島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,591 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	390	76.5	84.2	83.3
療養	-	-	-	-
結核	5	27.7	34.1	37.3
精神	60	36.2	42.0	62.7
感染症	5	13.7	12.2	16.8
計	460	70.0	77.4	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	9.5	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	719,559	
決算規模(千円)	525,446,638	
標準財政規模(千円)	254,613,492	
財政力指数	0.32716	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	172.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,345,640			
1 経常収益	16,656,162			
(1) 医業収益	14,379,794			
入院収益	9,845,019			
外来収益	3,466,878			
診療収入計	13,311,897			
その他医業収益	1,067,897			
(うち他会計負担金)	737,240			
(2) 医業外収益	2,276,368			
(うち国・都道府県補助金)	271,760			
(うち他会計補助・負担金)	1,354,694			
(うち長期前受金戻入)	533,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	689,478			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,958,570			
2 経常費用	16,958,570			
(1) 医業費用	15,309,506			
職員給与費	7,798,780	54.2	62.1	59.8
材料費	3,851,177	26.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	2,376,574	16.5	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,474,040	10.3	11.4	12.4
減価償却費	1,022,143	7.1	9.5	8.2
経費	2,567,209	17.9	22.7	19.2
(うち委託料)	1,560,732	10.9	12.6	10.2
研究研修費	33,876			
資産減耗費	36,321			
(2) 医業外費用	1,649,064			
(うち支払利息)	269,181	1.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-302,408			
純損益	387,070			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.2		101.9	103.7
医業収支比率	93.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	85.9		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	38,303,119
1 固定資産	30,537,269
(1) 有形固定資産	29,352,316
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,177,759
2 流動資産	7,765,850
(1) 現金及び預金	2,878,824
(2) 未収金及び未収収益	4,784,244
(3) 貸倒引当金()	150,554
(4) 貯蔵品	221,854
3 繰延資産	-
負債合計	38,668,434
1 固定負債	29,641,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,240,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	620,000
(5) その他の長期借入金	325,000
(6) 引当金	3,454,297
(7) リース債務	2,530
2 流動負債	4,866,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,694,092
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	683,459
(6) リース債務	15,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,082,089
(9) 前受金及び前受収益	39,549
3 繰延収益	4,159,953
(1) 長期前受金	14,804,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,644,929
資本合計	-365,315
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-7,783,648
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,454,931
負債・資本合計	38,303,119
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	365,315
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.1
修正医業収益(千円)	13,642,554

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,080,489	2,091,934
資本勘定繰入	556,001	561,978
計	2,636,490	2,653,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名	三好病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,511 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	206	59.3	68.3	65.0
療養	-	-	-	-
結核	8	-	5.5	12.1
精神	-	-	-	-
感染症	6	90.9	-	-
計	220	58.0	64.2	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.8	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	719,559	
決算規模(千円)	525,446,638	
標準財政規模(千円)	254,613,492	
財政力指数	0.32716	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	172.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.8
修正医業収益(千円)	3,660,540

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,739,495			
1 経常収益	5,109,018			
(1) 医業収益	4,027,507			
入院収益	2,660,136			
外来収益	921,420			
診療収入計	3,581,556			
その他医業収益	445,951			
(うち他会計負担金)	366,967			
(2) 医業外収益	1,081,511			
(うち国・都道府県補助金)	87,010			
(うち他会計補助・負担金)	623,346			
(うち長期前受金戻入)	332,284			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	630,477			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,647,202			
2 経常費用	5,647,202			
(1) 医業費用	5,321,460			
職員給与費	2,750,178	68.3	62.1	66.1
材料費	834,162	20.7	25.3	19.8
(うち薬品費)	314,532	7.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	519,213	12.9	11.4	9.3
減価償却費	565,387	14.0	9.5	10.2
経費	1,155,538	28.7	22.7	28.2
(うち委託料)	631,551	15.7	12.6	13.6
研究研修費	8,501			
資産減耗費	7,694			
(2) 医業外費用	325,742			
(うち支払利息)	40,757	1.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-538,184			
純損益	92,293			
累積欠損金	5,317,154			
経常収支比率	90.5		101.9	99.9
医業収支比率	75.7		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	72.9		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	38,303,119
1 固定資産	30,537,269
(1) 有形固定資産	29,352,316
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,177,759
2 流動資産	7,765,850
(1) 現金及び預金	2,878,824
(2) 未収金及び未収収益	4,784,244
(3) 貸倒引当金()	150,554
(4) 貯蔵品	221,854
3 繰延資産	-
負債合計	38,668,434
1 固定負債	29,641,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,240,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	620,000
(5) その他の長期借入金	325,000
(6) 引当金	3,454,297
(7) リース債務	2,530
2 流動負債	4,866,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,694,092
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	683,459
(6) リース債務	15,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,082,089
(9) 前受金及び前受収益	39,549
3 繰延収益	4,159,953
(1) 長期前受金	14,804,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,644,929
資本合計	-365,315
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-7,783,648
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,454,931
負債・資本合計	38,303,119
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	365,315
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	980,813	990,313
資本勘定繰入	142,581	148,162
計	1,123,394	1,138,475

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名	海部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	23,052 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	102	46.7	70.4	63.9
療養	-	-	-	-
結核	4	-	5.1	5.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	73.2	-	-
計	110	46.0	65.4	59.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	16.8	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	719,559	
決算規模(千円)	525,446,638	
標準財政規模(千円)	254,613,492	
財政力指数	0.32716	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	172.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.9
修正医業収益(千円)	1,431,206

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,005,211			
1 経常収益	2,242,612			
(1) 医業収益	1,623,952			
入院収益	808,672			
外来収益	586,385			
診療収入計	1,395,057			
その他医業収益	228,895			
(うち他会計負担金)	192,746			
(2) 医業外収益	618,660			
(うち国・都道府県補助金)	89,572			
(うち他会計補助・負担金)	310,257			
(うち長期前受金戻入)	204,729			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,762,599			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,381,003			
2 経常費用	2,620,682			
(1) 医業費用	2,389,631			
職員給与費	1,142,564	70.4	62.1	67.4
材料費	308,765	19.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	183,188	11.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	125,427	7.7	11.4	8.8
減価償却費	380,143	23.4	9.5	10.7
経費	552,250	34.0	22.7	29.2
(うち委託料)	255,441	15.7	12.6	13.9
研究研修費	3,011			
資産減耗費	2,898			
(2) 医業外費用	231,051			
(うち支払利息)	30,149	1.9	1.3	1.5
(3) 特別損失	760,321			
損益				
経常損益	-378,070			
純損益	624,208			
累積欠損金	4,035,149			
経常収支比率	85.6		101.9	100.3
医業収支比率	68.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	31.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	66.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	38,303,119
1 固定資産	30,537,269
(1) 有形固定資産	29,352,316
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,177,759
2 流動資産	7,765,850
(1) 現金及び預金	2,878,824
(2) 未収金及び未収収益	4,784,244
(3) 貸倒引当金()	150,554
(4) 貯蔵品	221,854
3 繰延資産	-
負債合計	38,668,434
1 固定負債	29,641,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,240,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	620,000
(5) その他の長期借入金	325,000
(6) 引当金	3,454,297
(7) リース債務	2,530
2 流動負債	4,866,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,694,092
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	683,459
(6) リース債務	15,178
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,082,089
(9) 前受金及び前受収益	39,549
3 繰延収益	4,159,953
(1) 長期前受金	14,804,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,644,929
資本合計	-365,315
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-7,783,648
(1) 資本金剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,454,931
負債・資本合計	38,303,119
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	365,315
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	501,780	503,003
資本勘定繰入	117,425	122,862
計	619,205	625,865

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	徳島市				
病院名	徳島市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,240 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	38	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	335	74.1	79.4	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	74.1	79.4	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.9	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	252,391	
決算規模(千円)	129,013,470	
標準財政規模(千円)	55,594,987	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	63.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,579,782			
1 経常収益	11,569,089			
(1) 医業収益	9,216,469			
入院収益	6,157,793			
外来収益	2,397,995			
診療収入計	8,555,788			
その他医業収益	660,681			
(うち他会計負担金)	442,299			
(2) 医業外収益	2,352,620			
(うち国・都道府県補助金)	861,131			
(うち他会計補助・負担金)	771,597			
(うち長期前受金戻入)	659,027			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,693			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,010,005			
2 経常費用	10,974,567			
(1) 医業費用	10,333,965			
職員給与費	5,236,060	56.8	62.1	63.5
材料費	2,571,412	27.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,342,355	14.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,227,014	13.3	11.4	11.8
減価償却費	964,398	10.5	9.5	10.0
経費	1,520,203	16.5	22.7	21.7
(うち委託料)	914,637	9.9	12.6	12.2
研究研修費	17,873			
資産減耗費	24,019			
(2) 医業外費用	640,602			
(うち支払利息)	238,515	2.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	35,438			
損益				
経常損益	594,522			
純損益	569,777			
累積欠損金	9,060,518			
経常収支比率	105.4		101.9	101.7
医業収支比率	89.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.4		89.3	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,313,152
1 固定資産	10,614,327
(1) 有形固定資産	10,614,245
(2) 無形固定資産	82
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,698,825
(1) 現金及び預金	725,934
(2) 未収金及び未収収益	1,913,713
(3) 貸倒引当金()	28,728
(4) 貯蔵品	29,386
3 繰延資産	-
負債合計	16,565,472
1 固定負債	13,698,755
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,363,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,335,561
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,471,233
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,043,728
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	323,327
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,067,042
(9) 前受金及び前受収益	3
3 繰延収益	395,484
(1) 長期前受金	4,649,047
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,253,563
資本合計	-3,252,320
1 資本金	2,681,502
2 剰余金	-5,933,822
(1) 資本金剰余金	3,126,696
(2) 利益剰余金	-9,060,518
負債・資本合計	13,313,152
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,252,320
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,856,836
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.9
修正医業収益(千円)	8,774,170

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,213,896	1,213,896
資本勘定繰入	654,678	654,678
計	1,868,574	1,868,574

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	三好市				
病院名	三野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,537 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	75.4	78.4	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	75.4	78.4	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		43.0	40.2	40.8

設立団体の状況		
人口(人)	23,605	
決算規模(千円)	26,628,013	
標準財政規模(千円)	13,828,840	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	740,393

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	915,772			
1 経常収益	915,526			
(1) 医業収益	749,608			
入院収益	450,656			
外来収益	242,950			
診療収入計	693,606			
その他医業収益	56,002			
(うち他会計負担金)	9,215			
(2) 医業外収益	165,918			
(うち国・都道府県補助金)	28,475			
(うち他会計補助・負担金)	80,909			
(うち長期前受金戻入)	49,134			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	246			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	965,686			
2 経常費用	965,067			
(1) 医業費用	911,564			
職員給与費	438,816	58.5	62.1	78.9
材料費	134,011	17.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	100,488	13.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,397	4.3	11.4	6.0
減価償却費	79,987	10.7	9.5	11.7
経費	256,388	34.2	22.7	31.2
(うち委託料)	95,965	12.8	12.6	14.3
研究研修費	315			
資産減耗費	2,047			
(2) 医業外費用	53,503			
(うち支払利息)	16,211	2.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	619			
損益				
経常損益	-49,541			
純損益	-49,914			
累積欠損金	185,260			
経常収支比率	94.9		101.9	100.3
医業収支比率	82.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	85.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,199,187
1 固定資産	955,098
(1) 有形固定資産	916,569
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	38,529
2 流動資産	244,089
(1) 現金及び預金	154,986
(2) 未収金及び未収収益	82,288
(3) 貸倒引当金()	825
(4) 貯蔵品	7,640
3 繰延資産	-
負債合計	1,292,431
1 固定負債	901,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	901,337
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	144,220
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,495
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,610
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,114
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	246,874
(1) 長期前受金	840,193
(2) 長期前受金収益化累計額()	593,319
資本合計	-93,244
1 資本金	91,816
2 剰余金	-185,060
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-185,060
負債・資本合計	1,199,187
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	93,244
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,054	90,124
資本勘定繰入	27,028	27,895
計	133,082	118,019

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	勝浦町				
病院名	国保勝浦病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,495 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	50.3	62.4	55.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	50.3	62.4	55.0
平均在院日数(一般病床のみ)		34.1	36.7	39.0

設立団体の状況		
人口(人)	4,837	
決算規模(千円)	4,649,827	
標準財政規模(千円)	2,345,454	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	665,424			
1 経常収益	665,386			
(1) 医業収益	452,839			
入院収益	269,628			
外来収益	152,014			
診療収入計	421,642			
その他医業収益	31,197			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	212,547			
(うち国・都道府県補助金)	16,369			
(うち他会計補助・負担金)	171,444			
(うち長期前受金戻入)	20,705			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	38			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	661,262			
2 経常費用	661,262			
(1) 医業費用	640,628			
職員給与費	450,140	99.4	62.1	78.9
材料費	49,028	10.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	36,096	8.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,828	2.8	11.4	6.0
減価償却費	19,651	4.3	9.5	11.7
経費	121,297	26.8	22.7	31.2
(うち委託料)	76,815	17.0	12.6	14.3
研究研修費	512			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,634			
(うち支払利息)	1,302	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	4,124			
純損益	4,162			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.6		101.9	100.3
医業収支比率	70.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	74.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,015,632
1 固定資産	876,420
(1) 有形固定資産	875,866
(2) 無形固定資産	554
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,139,212
(1) 現金及び預金	1,064,773
(2) 未収金及び未収収益	71,023
(3) 貸倒引当金()	399
(4) 貯蔵品	3,815
3 繰延資産	-
負債合計	817,694
1 固定負債	572,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,222
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	397,829
(7) リース債務	-
2 流動負債	94,347
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,255
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,058
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,034
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	151,296
(1) 長期前受金	421,782
(2) 長期前受金収益化累計額()	270,486
資本合計	1,197,938
1 資本金	1,017,048
2 剰余金	180,890
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	180,890
負債・資本合計	2,015,632
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.7
修正医業収益(千円)	452,839

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,400	171,444
資本勘定繰入	166,176	168,733
計	272,576	340,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	那賀町				
病院名	那賀町立上那賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,432 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	52.9	73.4	63.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	52.9	73.4	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.4	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,367	
決算規模(千円)	12,013,880	
標準財政規模(千円)	6,472,452	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.9
修正医業収益(千円)	289,713

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	617,954			
1 経常収益	617,954			
(1) 医業収益	292,713			
入院収益	159,097			
外来収益	106,063			
診療収入計	265,160			
その他医業収益	27,553			
(うち他会計負担金)	3,000			
(2) 医業外収益	325,241			
(うち国・都道府県補助金)	9,472			
(うち他会計補助・負担金)	298,444			
(うち長期前受金戻入)	5,097			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	545,626			
2 経常費用	545,626			
(1) 医業費用	537,502			
職員給与費	372,310	127.2	62.1	89.0
材料費	42,876	14.6	25.3	14.0
(うち薬品費)	22,559	7.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,317	6.9	11.4	5.4
減価償却費	39,086	13.4	9.5	13.0
経費	82,503	28.2	22.7	47.1
(うち委託料)	49,746	17.0	12.6	22.5
研究研修費	30			
資産減耗費	697			
(2) 医業外費用	8,124			
(うち支払利息)	8,124	2.8	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	72,328			
純損益	72,328			
累積欠損金	1,250,501			
経常収支比率	113.3		101.9	98.5
医業収支比率	54.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	48.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	103.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	48.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	58.0		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	624,678
1 固定資産	353,339
(1) 有形固定資産	353,339
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	271,339
(1) 現金及び預金	154,082
(2) 未収金及び未収収益	94,155
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	11,858
3 繰延資産	-
負債合計	357,927
1 固定負債	206,758
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	206,758
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	105,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,859
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,123
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,805
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	45,382
(1) 長期前受金	185,948
(2) 長期前受金収益化累計額()	140,566
資本合計	266,751
1 資本金	1,517,252
2 剰余金	-1,250,501
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,250,501
負債・資本合計	624,678
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	72,299	301,444
資本勘定繰入	42,865	69,586
計	115,164	371,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	427.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			徳島県
市町村・組合名	美波町		
病院名	国保美波病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,531 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	50.6	53.3	47.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	50.6	53.3	47.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	18.6	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	6,222	
決算規模(千円)	7,008,366	
標準財政規模(千円)	3,700,666	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	18.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.1
修正医業収益(千円)	462,151

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	762,827			
1 経常収益	762,816			
(1) 医業収益	500,141			
入院収益	255,099			
外来収益	194,156			
診療収入計	449,255			
その他医業収益	50,886			
(うち他会計負担金)	37,990			
(2) 医業外収益	262,675			
(うち国・都道府県補助金)	6,403			
(うち他会計補助・負担金)	221,857			
(うち長期前受金戻入)	24,846			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	823,605			
2 経常費用	823,605			
(1) 医業費用	795,644			
職員給与費	476,463	95.3	62.1	78.9
材料費	115,892	23.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	91,921	18.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,992	3.6	11.4	6.0
減価償却費	101,201	20.2	9.5	11.7
経費	101,781	20.4	22.7	31.2
(うち委託料)	68,843	13.8	12.6	14.3
研究研修費	307			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	27,961			
(うち支払利息)	4,692	0.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-60,789			
純損益	-60,778			
累積欠損金	371,526			
経常収支比率	92.6		101.9	100.3
医業収支比率	62.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	34.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	52.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	34.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	61.1		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,524,218
1 固定資産	2,157,467
(1) 有形固定資産	2,157,467
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	366,751
(1) 現金及び預金	271,220
(2) 未収金及び未収収益	95,883
(3) 貸倒引当金()	353
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,879,715
1 固定負債	944,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	944,135
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	119,490
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,633
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,044
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	816,090
(1) 長期前受金	972,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	156,403
資本合計	644,503
1 資本金	1,006,354
2 剰余金	-361,851
(1) 資本金剰余金	9,675
(2) 利益剰余金	-371,526
負債・資本合計	2,524,218
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,847	259,847
資本勘定繰入	49,835	49,835
計	189,682	309,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	海陽町				
病院名	海南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,366 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 災 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	42.3	38.2	35.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	42.3	38.2	35.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	16.8	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	8,358	
決算規模(千円)	8,561,418	
標準財政規模(千円)	4,853,222	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	498,021			
1 経常収益	494,246			
(1) 医業収益	286,110			
入院収益	179,859			
外来収益	85,892			
診療収入計	265,751			
その他医業収益	20,359			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	208,136			
(うち国・都道府県補助金)	9,601			
(うち他会計補助・負担金)	182,748			
(うち長期前受金戻入)	13,829			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,775			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	535,968			
2 経常費用	535,968			
(1) 医業費用	519,319			
職員給与費	313,448	109.6	62.1	89.0
材料費	25,622	9.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	12,946	4.5	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,533	2.6	11.4	5.4
減価償却費	64,458	22.5	9.5	13.0
経費	115,315	40.3	22.7	47.1
(うち委託料)	56,673	19.8	12.6	22.5
研究研修費	442			
資産減耗費	34			
(2) 医業外費用	16,649			
(うち支払利息)	4,989	1.7	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-41,722			
純損益	-37,947			
累積欠損金	623,025			
経常収支比率	92.2		101.9	98.5
医業収支比率	55.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	37.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	63.9		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	36.7		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	58.1		89.3	64.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,085,570
1 固定資産	1,012,593
(1) 有形固定資産	1,010,235
(2) 無形固定資産	2,358
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	72,977
(1) 現金及び預金	21,204
(2) 未収金及び未収収益	50,356
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,417
3 繰延資産	-
負債合計	644,940
1 固定負債	370,079
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	370,079
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	66,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,600
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,930
(6) リース債務	2,757
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,775
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	208,799
(1) 長期前受金	370,030
(2) 長期前受金収益化累計額()	161,231
資本合計	440,630
1 資本金	1,031,945
2 剰余金	-591,315
(1) 資本金剰余金	31,710
(2) 利益剰余金	-623,025
負債・資本合計	1,085,570
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.1
修正医業収益(千円)	286,110

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,661	182,748
資本勘定繰入	28,133	47,021
計	208,794	229,769

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	217.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	つるぎ町				
病院名	つるぎ町立半田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,311 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	63.7	72.7	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	63.7	72.7	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	18.1	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,715	
決算規模(千円)	8,648,922	
標準財政規模(千円)	5,203,938	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	22.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,588,300			
1 経常収益	2,539,240			
(1) 医業収益	2,062,805			
入院収益	1,021,469			
外来収益	836,747			
診療収入計	1,858,216			
その他医業収益	204,589			
(うち他会計負担金)	116,083			
(2) 医業外収益	476,435			
(うち国・都道府県補助金)	273,869			
(うち他会計補助・負担金)	125,723			
(うち長期前受金戻入)	48,949			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,060			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,492,983			
2 経常費用	2,445,094			
(1) 医業費用	2,323,988			
職員給与費	1,378,219	66.8	62.1	67.4
材料費	308,164	14.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	165,631	8.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	129,771	6.3	11.4	8.8
減価償却費	165,634	8.0	9.5	10.7
経費	468,673	22.7	22.7	29.2
(うち委託料)	159,962	7.8	12.6	13.9
研究研修費	2,296			
資産減耗費	1,002			
(2) 医業外費用	121,106			
(うち支払利息)	29,933	1.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	47,889			
損益				
経常損益	94,146			
純損益	95,317			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.9		101.9	100.3
医業収支比率	88.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	94.0		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,817,216
1 固定資産	4,130,253
(1) 有形固定資産	4,088,863
(2) 無形固定資産	122
(3) 投資その他の資産	41,268
2 流動資産	686,963
(1) 現金及び預金	59,021
(2) 未収金及び未収収益	595,312
(3) 貸倒引当金()	617
(4) 貯蔵品	33,247
3 繰延資産	-
負債合計	2,524,336
1 固定負債	1,347,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,338,528
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,783
2 流動負債	464,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	97,059
(6) リース債務	16,878
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,062
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	712,923
(1) 長期前受金	2,159,953
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,447,030
資本合計	2,292,880
1 資本金	1,553,651
2 剰余金	739,229
(1) 資本金剰余金	1,871
(2) 利益剰余金	737,358
負債・資本合計	4,817,216
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.8
修正医業収益(千円)	1,946,722

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,678	241,806
資本勘定繰入	125,680	58,194
計	368,358	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。